

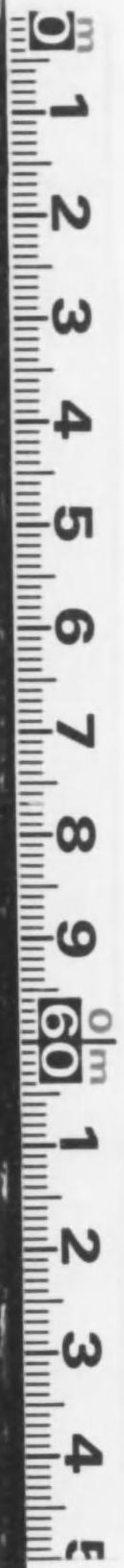
義張草

下

15-461



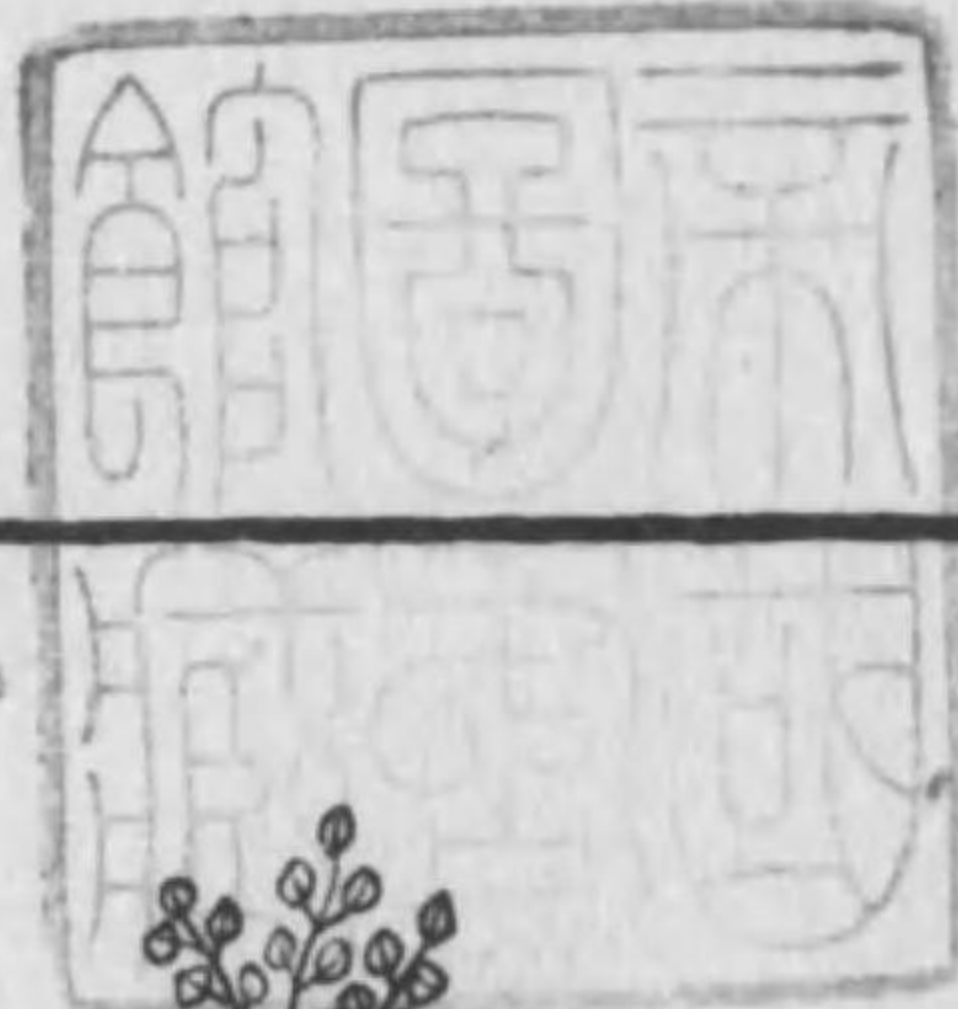
S  
61



始







坂サカ下シタ千チ夜ヤ御ミ意イ何ナニ  
 愛アイ敷シ振ヒ本ホン黄ワウ金キン膚フ

田タ子コ浦ウラ船フネ被カケ漕カウ渦ウヅ



穉サマ則ナラバ命イノチ脞ツユ露ユキ於ニ脞ツユ



松マツ 柏カハ 終ツギ 凋シボ 公キミ 無ナシ 老ヲシ

本ホン 來ライ 嬋セン 娟ケン

不ス 慵ヤス 紅ベニ



鞞ユキ 懸ラカク 門カド 戸ド 一ヒト 夜ヨ 出イデ

貝フシテ 味アミ 御ミ 情ナリ 不ナシ 犯ト 躬ミト



鈴スズ 麴カハ 為セヨ 雲クモリ 東ヒガシ 山ヤマ 照テル

花ハナ 見ミ 本ホン 法ホウ 為ナリ 浸シヅメ

左サ 右ユウ 末マツ 社シヤ 門カド 絞シボ 糸イト

鳥トリ 舟フネ 道ミチ 呼ヨブ 水ミヅ 店タナ 吟ギン





ダイシシ グウモコロセント アハレ ミタニ  
太神宮志與哀看

シヤウ ハイ ツメ イロ イカンガ コレ  
庄平染色如何是



フキ ル ズ ナカ ヒヤク マン シ ク  
勝丸就中百万貫

ダ テ ア ミ カ サ ミ モ ド リ カ ス  
伊達編笠三戻還



サクラ ヤド ユ コ ノ モ ト ラ ス ル モ カ タ レ ケ モ  
櫻宿木下湧天水

ヤマ チ ノ ア ダ ウ タ ア ザ タ ビ シ  
山路化歌拾遺伽

リン セン モ シ ア ラ バ ソ シ カ メ  
林泉有覆子婦

ス ケ ナ ヤ セ シ ド ザ ザ ン ザ ン ナ ミ  
助三斗散瓶瓶波





其ナド

忠持タツモチ

大鼓ダイコ

岡部オカベ

西サイ勝トウ近キン年ネン從ヨリ身ミ上アガリ

河カ原ハラ大ダイ臣シン万マン操ゾウ多タ



助スケ様サマ御ミ盃サイ是コレ檀ダン那ナ

市シ中チュウ隱イン士シ拂ホシ子スノ聖シヤウモ  
川カハ船フネ浮ウカレ出イッル三シヤ味ミン調シズ  
薰タキ物モノ起クモ雲クモラ招マキ夕セキ日ジツ  
樣サマ風フ流リウ是コレ日ニッ本ホン橋ハシ





源遠其根深此迷

太恨借船十三里

田面歸鴈篋封淚

觀音寺

勝安井欵



玉盃當心可愛敷

川柳綠髮拔大腰

三指親仁野夫助



弥早入君命假橋



加<sup>カ</sup>賀<sup>ガ</sup>笠<sup>ガサ</sup>裏<sup>ウラ</sup>千<sup>チ</sup>千<sup>チ</sup>媚<sup>メ</sup>  
 川<sup>カハ</sup>竹<sup>タケ</sup>流<sup>ナガレ</sup>推<sup>スシ</sup>  
 發<sup>ホツ</sup>屈<sup>ク</sup>理<sup>リ</sup>



右<sup>ドウモ</sup>引<sup>ヒキ</sup>肥<sup>ヘ</sup>命<sup>メイ</sup>別<sup>ベツ</sup>乾<sup>カン</sup>坤<sup>コン</sup>  
 近<sup>チカ</sup>来<sup>カ</sup>物<sup>モノ</sup>日<sup>ヒ</sup>浸<sup>ヒタス</sup>桃<sup>タケノコ</sup>李<sup>リ</sup>

西<sup>セイ</sup>山<sup>サン</sup>月<sup>ツキ</sup>下<sup>カ</sup>清<sup>キヨ</sup>流<sup>リウ</sup>岸<sup>キ</sup>  
 東<sup>トウ</sup>岸<sup>ガン</sup>柳<sup>ヤナギ</sup>雲<sup>クモ</sup>死<sup>シ</sup>山<sup>ヤマ</sup>畔<sup>ハナ</sup>  
 喜<sup>コイ</sup>山<sup>ヤマ</sup>風<sup>カゼ</sup>奇<sup>キ</sup>水<sup>スイ</sup>岸<sup>ガン</sup>波<sup>ハ</sup>  
 お<sup>ヲ</sup>山<sup>ヤマ</sup>神<sup>カミ</sup>下<sup>カ</sup>あ<sup>ア</sup>打<sup>ウツ</sup>岸<sup>ガン</sup>  
 花<sup>ハナ</sup>

美長

六

書

十



今イニ成ナリ共トモ衝ツク腕ウデ欤カ股モウカ

村ムラ山ヤマ之ノ子コ親オヤ見ミ哉カ



半ナカ天ツミ心ココロ浮ウカ生ナマ醉ユイ藝ゲイ

助スケ乎タヤ三サン盃バイ縱タヒ千セン盃バイ

いろはよむ

花あり

花あり

花あり





尾上多賀之丞  
 雜三津嶋藻汐  
 袖崎伊呂波

誰カモ崎カタク 弥イヨ 伊ダ達テナ 呂スツ 波ナミ  
 刈カル 藻モノ 背ムカシ 汐シホ 干ヒノ 袖ソデ 靨カ  
 彦ヒコ 三サウ 曳ヒク 津ツツ 小オ 嶋シマノ 歌ウタ  
 季キ 尾ビ 水ミヅ 上アゲ 滅メツ 多タニ 賀ヨロヲ



あひ乃名々

月々呼るり

か  
 写





藏中傾盡幾千鈞

兵卒起崩姑蘓洛



本是羅綾多惱人

松風調瑟拂梁塵



外聞實義天不構

山林竹木身代棒



千早振神無御存

君故捨命告露鬢





玉簪疾古昔大濡

村雨車軸馬窟原

浅茅生宿代手枕

之是比翼戀慕源

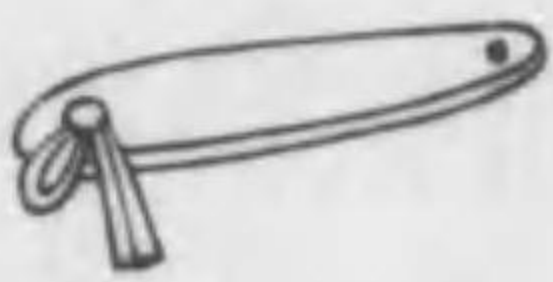


色比色有希流振

松葉包意ニ女莖

勲雷箱種因冰子

栞是丸裸幾出家





竹者割見。為此思

中不道。其百媚

半夜限鐘告於迎

三盃機嫌胸取次



浪鼓。皦皦。蘆葉管

江上底貫醉吐。残

三津寺鐘。駭小夜



火車進。階加。勘弁





久米仙人被燒附

公透許五枚折紙



上作無疵二三行

村正延國左文字

勝代玉兔仲泣雨

田鶴鳴浦片物襟

吉為男小町素足



三角疇昔世際霖



三笠山月其長娟

頓根引此喜理嶋



假令孔子達磨留

之免我等頭顛倒



艷向風流噫足腹

様成晴今一所望

玉而孰加點濡王

村時雨比貞見粧



瘦牛とあひいひくる人乃。羨く野府  
 男。遊むとまじく。世れ屋著る。  
 教ゆる小を。戯れまは。く。次小狂  
 詩と。りつと。餘力有る。分た。夢の。乃  
 意あらん。予二階。お。登り。ざりし。流  
 然。何とあへ。由。世。さ。ま。れ。詩と。入。れ。み  
 一向。う。こ。道。ゆ。り。ある。人。乃。他。ハ。詩。カ。で。  
 粗。ゆ。何。も。悪。な。狂。の。狂。的。ら。し。心。着。れ。

兼雅草

七四



此の粗末にて。待たぬ。痛の振提  
 河の波の後。此中なるを得る。人れし  
 今子。口に。投ぎき。城の何ころ。筆で  
 振え。池に。あふ。美。一又。一方。筆  
 ぬ。程。わか。あふ。あれ。おし。共。代。小。鳴  
 時。花。哥。子。素。紙。なん。ど。い。お。あ。代。に。と  
 向。に。ゆ。り。と。い。お。心。お。き。乃。美。の  
 指。南。車。と。い。お。き。仕。子。懐。の。信。伸

此。た。ぬ。お。あ。く。と。お。い。て。手。袋。焼。平  
 の。遠。保。と。あ。く。い。え。ん。と。い。お。り  
 い。お。を。ま。ま。説。げ。ま。げ。終。お。後。お。お。あ。お

昔元祿四歳次流里離と

松又山愚一木教人

想 虎洞軒





書林

第五卷

# 書林

# 藤華軒

印行五百部之內  
第 號

15  
461

昭和三年二月廿五日印刷  
昭和三年二月廿八日發行

會製強書種

品賣非

編輯兼發行者 東京市牛込區富久町八十四番地  
印刷者 山田清作  
刷者 大塚祐次  
東京市牛込區富久町八十四番地  
發行所 米山堂  
電話 〇三三六  
電話 〇三三六

第五期  
第十六回



終